

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

アイヌの方々の取組を支援したい～アイヌ文化ウレシカ基金の創設～

「ウレシカ」とはアイヌ語で互いに育てるという意味であり、基金を活用し、アイヌの方々が主体的に取り組む様々な活動の支援に活用します。具体的には、アチミニシリ・カムイノミや銀のしづく降る日といった文化伝承活動や、アイヌのデザインを活用した商品開発を支援します。

アイヌ文化への理解・関心を高めたい

アイヌ文化を多くの方に知ってもらうための情報発信を行うとともに、教育の中でアイヌの歴史や文化を学ぶ機会を増やし、理解と関心を高める取組を進めます。また、アイヌ語案内看板や文化を紹介する動画といったアイヌ文化のコンテンツを開発することで、観光客の誘致を進めます。

アイヌの伝統文化を次世代に継承していきたい

旭川のアイヌ民族は、幾多の困難に直面しながらも、自然を尊び、誇りを持ち、伝統文化を幾代にわたり伝承してきました。伝承者の高齢化が進む中、後継者不足に直面していることから、伝統文化を次代に継承する取組を支援いたします。

アイヌ文化伝承に必要な自然素材の確保を進めていきたい

アイヌ伝統工芸や文化伝承に必要な自然素材、例えば、チタラペ（ゴザ）製作のための原料であるガマ（多年草）は、都市化が進むことによって自然環境が変わり、現在市内において入手が困難となっております。

文化伝承にあたり、自然素材の確保が負担となっていることから、安定的な確保や地域において栽培育成の調査研究に向けた取組を支援します。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、アイヌの方々が主体的に取り組む文化伝承活動やアイヌのデザインを活用した商品開発、伝統文化を時代に継承する等といったアイヌ文化を生かしたまちづくりを進める活動の支援に活用させていただきます。

お問合せ先

社会教育部文化振興課 電話 0166-25-7558